

Japan Laser Class Association AUG./2022 No.249

News

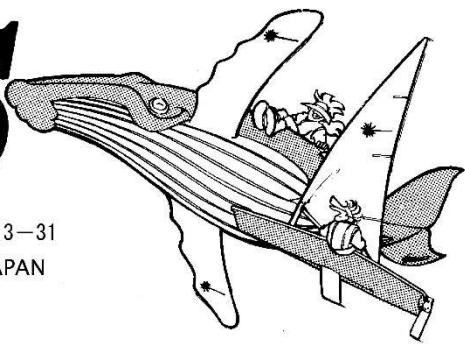
一般社団法人

日本レーザークラス協会 事務局：〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南3丁目13-31

Head Office: 3-13-31 Kamitsuchitana-Minami, Ayase, Kanagawa 252-1114 JAPAN

Tel&Fax : 0467-76-1103 Email : info@laserjapan.org

Website: <http://www.laserjapan.org/>



2022 レースシーズンスタート！ 今年は遠出してみませんか？ 全日本マスターズ公示発表（＝マスターズの安否確認？！）



2022 めんたいカップ@津屋崎バナナハウス 相島廻りコース！

Laser Beam

『天国にいちばん近いフリート？』（メンバーが天国に近いということではありません！）で3年ぶりにめんたいカップが開催されました。コロナ禍で活動が制限されていましたイベントも徐々に実施されるようになり、レーザーセーラーの活気も戻ってきたように感じます。しかし、ウイルスの変異で第7波の流行も懸念されており、予断を許さない状況です。当面は感染対策を十分に取りながら、ウイズコロナの流れとなるのではないか。

さて、全国的にもフリートメンバーの減少、高齢化によって、年々フリート活動や地方選手権の開催が難しくなっているように思います。そのような中で今年のめんたいカップは、バナナハウスのメンバー10人程度の少人数であったにもかかわらず、素晴らしいホスピタリティとレース運営で、参加者はあらためてレーザーライフの素晴らしさを実感されたことでしょう。

当然、レベルが高いレース運営や十分なレスキュー体制の準備は求められますが、できる範囲での大会運営に、それを理解したうえで参加される選手たちで行うイベントも、十分楽しめ満足できると思います。

ガチガチのレースだけではなく、楽しく心に残るイベントがたくさん実施されていけば、メンバーの増加にも寄与する事でしょう。皆さんの楽しい企画、立案をお待ちしています。

イベント兼マスターズ委員長
徳丸元彦

協会広報

理事会・総会報告

6月29日、役員・各委員長、北信越・九州の水域マネージャがZOOM越しに勢ぞろいし、一般社団法人日本レーザークラス協会の理事会・総会を開催しました。

みなさんのご協力のおかげで、法人化してから7期目の決算を無事に済ますことができました。ありがとうございます。

引き続き第8期に向けて一層頑張っていきます。

- ・FY2021 決算報告、監査報告
- ・FY2021 事業報告
- ・FY2022 予算案
- ・FY2022 事業計画
- ・各委員会報告
- ・その他

ここ数年、コロナ禍に振り回されて、計画した事業がなかなか思うように進まない状況ではありますが、の中でも LASER/ILCA クラスが活性化するように知恵を絞っているところです。

強化と普及の二兎を追っていきたいと思いますので、みなさんのご支援をお願いいたします。

国内セクレタリー 大工昌也



強化委員会から

<ILCA6 ユース世界選手権代表選手>

(男子) 西村拓真

服部輝海

豊澄成光

(女子) 小山すみれ

<ILCA4 ユース>

(男子) 遠藤 海之流

千葉 鈍汰朗

(女子) 東道 すず

豊澄 麻希

オータムレガッタ (10/22-23)@江ノ島のお知らせ

オータムレガッタはILCA4(4.7級)の大会として新たに設けられた大会です。

ジュニアユースに限らずシニア、マスターズセーラの参加をお待ちしております！

アンチ・ドーピング

室蘭フリートメンバーで医師でもある井上さんからのドーピングに関する記事を頂戴しました。春の北海道選手権参加時先生に「市販サプリメント等は何が良くて何がダメなのか」と言う質問をさせて頂きご回答を頂戴しました。アンチドーピングはかなり難しいものである事を再認識できました。選手の皆さんもドーピング検査に引っかかる様に注意をお願いします。

津フリート 加藤重雄

禁止物質・禁止方法は、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止表国際基準(1月1日発効)に伴い、毎年改定される。
→常に新しい情報入手の必要あり。次の3つに分類される。

- ① 常に禁止される(競技会(時)および競技会外)もの
- ② 競技会(時)に禁止されるもの
- ③ 特定競技において禁止されるもの
:セーリング競技に限定した禁止薬なし(2022)

例えば・・・

ゼン息治療薬(β2作用薬)、強精剤の一部(蛋白同化薬含む)
→①
漢方薬(麻黄を含むもの)、胃腸薬(ストリキニーネを含むもの)
→②

市販の風邪や鼻炎の薬には禁止物質が含まれているものが多く要注意！

サプリメント (とくに海外で市販されているもの) も要注意！

*サプリメントや栄養ドリンクは法律上「食品」に分類され、商品の成分表に全ての原材料を記載する義務がない。

→ラベルやパッケージに表示されていない物質がその製品に含まれている可能性があり、もし表示されていない物質が原因でアンチ・ドーピングのルール違反になった場合にはアスリートはその責任を自身でとらなくてはならない。

表示されていない、確認できない物質が入っている可能性があるというリスクを十分に理解したうえで、本当にそのサプリメントや栄養ドリンクが自身に必要なかを判断することが求められる。

JADAは、WADAの定める禁止リストに抵触しないサプリメントの認定商品を「JADA認証」として定め、JADAマークの普及を進めていたが、様々な事情により2019年3月で廃止。

ガイドラインに基づいて情報公開されてはいるが、成分が必ずしも明確でなくあくまで自己責任。ドーピングの危険が無いことを保証することは極めて難しいのが実情。



アンチ・ドーピングとサプリメント
(日本アンチ・ドーピング機構 JADA)

一方で、日本スポーツ栄養協会(SNDJ)が選んだ認証機関がリストに挙げる商品の情報が公開されてはいる(約2ヶ月毎にアップデート)。

認証検査機関もいくつかあって(英国 LGC 社:インフォームドチョイス/インフォームドスポーツ、米国 BSCG 社など)、例えばインフォームドチョイスが認証するキューピーコーワ(数種)、リポビタン(数種)、ウンケルローヤル 200、ザバス(数種)、ヴァーム(数種)などあるが、必ずしも“認証マーク”=安全保障マークではないことに留意すべき。



サプリメント選びと注意点
(日本スポーツ栄養協会 SNDJ)



初代日本レーザークラス協会事務局 岡室 保子さん 45年ぶりに綾瀬事務所訪問！！

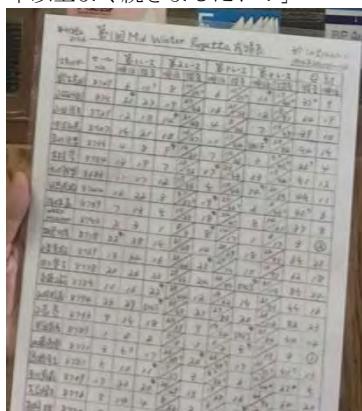


初代日本レーザークラス協会事務局 岡室保子さん（1974-1976写真右）が大切に保存していたカナダ製のレーザーステッカーを寄付してくれました。岡室さん手書きの第一回ミッドウインターレガッタ（日本で最初のレーザークラスレガッタ）の記録を見せる奥津興志子さん（1998-現在事務局写真左）

カナダのパフォーマンスセイルクラフト Inc. と山村彰(キール五輪 FD 級代表)との出資でレーザーを使っての”日本の草の根セイリング活動”開始。505 級、スナイプ級を作っていた GH クラフト(後に御殿場に移転し日本を代表するコンポジット工場に発展 木村学代表)の 2 階に間借りでスタート。

現地(神奈川県高座郡綾瀬町)スタッフは舵社を退職して欧州/北米遠征中にレーザーに出会った大谷と江の島で K-16 に乗っていた岡村保子。プラス必要に応じてのアルバイトのみ。

岡室さん曰く「私のいた 3 年間に 2 回ほど資金がうまく回らなくなったり、そのたびにカナダと山村さんで増資……あれから 45 年以上よく続きましたね！」



1974 年ミドウインターの成績表！！

なんと Laser NEWS が発行される以前、PSJ 発足以前とにかく最初の Laser 24 艇のが日本に上陸しての第一歩。先が全く見えない濃い霧の中、第一歩から手伝ってくれた岡室保子さんに感謝！！

本当にこのミドウインターが成功していなければ今の PSJ は存在しない！！

この記録はずっと探していたんだけど斎藤正樹(井上愛子の旦那(二人ともジュニア代表で参加)の家で母上が最近亡くなって家中を整理した時に発見！！宝物です！！



日本で初のレーザーレガッタにはカナダのテレビ局からの取材チームが同行、その時放映された映像が昨年カナダで発掘されて国際レーザー協会のウェブサイトで閲覧できるようになっています。
https://www.onf.ca/film/boat-that-ian-built/?fbclid=IwAR2gIjicJYYIFFZ8wMKZIw0eFu5XOKpLSu1pB2Ugv07XFwdVDVW_ACySTo

レースを仕切る山村彰と岡室保子



カナダから来日の弁護士ワードマッキム氏とその左に座る山村彰氏の顔色をうかがいながら PS Japan 設立について説明を受ける。その後全ての責任を負うハメになるとはコレボッチも思ってもいな ロングヘア大谷。



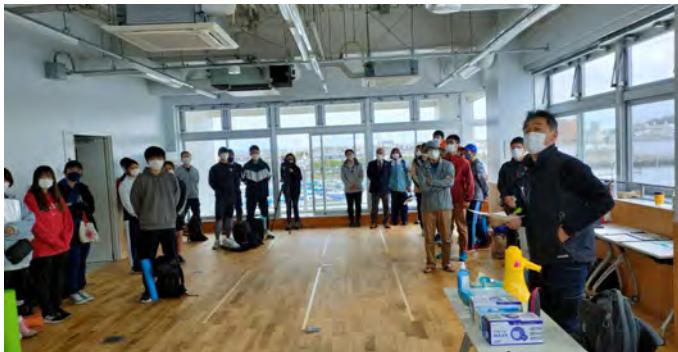
面白さ倍増 スキーヨッティング！！初日は比叡山北の函館山でスキースラローム、2 日目は柳ヶ崎でレーザーのフリートレース写真右から岡室、1974 全日本 2 位壁谷(蒲郡 F)、大谷、日本で最初のレディスセイラー板倉、まだスキーを抱えて悔しがっている木村学 GH クラフト代表、滋賀県連の堤、1974 全日本 1 位埜口(江の島 F)



蔵王スキーヨッティングに Laser を持ち込んで Laser スラローム(もちろんうまくいかない)に挑戦したり、野尻湖や猪苗代湖でのキャンプ&セイリング練習会&レガッタなど楽しいイベントを追い求めました。もちろん鍋(何でも入れる豚汁)大なべも同行！！

(敬称略)

2022年レーザーラジアル、4.7クリニック (トレーニングキャンプ) (兼)身体能力測定会 @江ノ島(4/16-17)



体力測定前で、緊張な面持ち



ミーティングもしっかりと行いました。4.7クラスには教える事たくさん！

4月16~17日の二日間、江ノ島ヨットハーバーにてトレーニングキャンプと身体能力測定会を開催して頂きありがとうございました。感染症対策を十分に行なった上で、2年ぶりの身体能力測定となりました。

今回、初めて体力測定に参加をしたのですが、みんなすごく自分よりも記録が上で、自分ももっと頑張らなくてはならないと思いました。

特にシャトルラン・握力・反復横跳びなどが周りがすごくて、自分の努力不足を感じました。シャトルランはレース後半のクローズで集中して走るために必要と協会の方に言われました。

今まであまりやってこなかった陸上練習をもっと練習して、それで培った能力と海で練習してきたことと共にレースで発揮していくならと、思っています。

体力能力測定終了後、海上練習を行いました。満足のいったレースもありましたが、満足のいかなかったレースもありました。

ですので、もっと上手くなろうと協会の方に積極的に質問をしましたら、親身になって教えて頂きました。教えてもらったことをノートに書き、練習で実践し自分のものにしていきます。

今回レベルの高い同世代の人と練習ができて、とても大きな糧となりました。スプリングレガッタで実力を発揮できるよう頑張ります。

(芦屋フリート 中田祐輔)



短い上下でウォームアップ



下マークは大混雑

4月16~17日の2日間、江ノ島で開催されたレーザー・ラジアル、4.7クリニック(トレーニングキャンプ)(兼)身体能力測定会に参加しました。

まずは、ミッドウインターをはじめとした色々な大会が中止となる中、当会を開催していただいたレーザー協会及びコーチ陣をはじめ関係の皆様に心より感謝を申し上げます。

当会は、16日の午前中に体力測定を行い、午後から海上練習。17日は終日、海上練習というスケジュールでした。

体力測定では、最高得点を獲得した高校3年生の選手とのフィジカルの差を見せつけられました。およそ一年間、トレーニングをしてきたものの、これまで以上の内容でトレーニングを継続し、自分の体を鍛え上げることが重要だと感じましたし、加えて体調をしっかりと管理して、計測会や大会などに挑まなくてはならないと思いました。午後から海上にまでしました。南風(4~5m/s)、大きなうねりがある中での帆走練習、スタート練習をしました。

私のホームグラウンドの広島の海面は、いつもフラットな状況なので、大きなうねりにしっかりと対応できませんでした。今後の課題です。また、帆走練習でも、うねりがありフラットをキープできませんでしたが、乗艇位置はほとんど変えず、頭だけでヒールトリムする方法などを習うことができ、大変勉強になりました。

17日の海上の様子は、南風の超微風(1m/s)でフラットな海面だったので広島の海面とよく似ていました。ロールタックなどが上手にできている選手が前を走る状況でした。基本動作を再確認することができました。

このような微風の海面では、普通バングを緩めますが、僕はスーパーバングの一歩手前ぐらいまでバングをひくようにしています。カーボンマストの特性なのかどうか、はつきりとはわかりませんが、あまりスピードが変わらず、どちらかといえば角度がとれるような状態で帆走できていると感じています。

このことに対するコーチは、セールトリムがしやすくなっているために、スピードが出やすくなっているのではないかと分析してくださいました。皆さんもぜひ一度試してみてください。そして、何か気がついたことなどがあれば、大会などであったときにぜひ教えていただけると幸いです。

最後に、コロナウィルスがこれ以上、深刻化せず、皆さんとまた大会や練習と一緒にセーリングできる機会がどんどん増えることを楽しみにしております。貴重な経験をさせていただきまして、本当にありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。

(広島フリート 豊澄成光)



スタート練習もみっちり行いました。出ているのは誰だ？



上マークも大混雑。マークタッチも続出

4月16日・17日の2日間、江ノ島でトレーニングキャンプ兼身体能力測定会が行われました。

身体能力測定会はコロナ禍の影響により中止が相次いでおり、2年間振りの開催となりました。例年ユース代表選手の最終選考が行われる大会の前日に行われていましたが、今年は大会日程の都合で前日開催が困難と判断し、別日での開催に至りました。

しかしながら身体能力測定のためだけに江ノ島にお越し頂くのも勿体ないため、選手同士で切磋琢磨する場を提供したいとの考えからトレーニングキャンプを併催する事を発案したのが経緯となります。そのため参加選手はユースが中心となりましたが一般の申込もあり、ラジアルが19名、4.7が14名の合計33選手が江ノ島に集まりました。

身体能力測定は公示に記載の通り、6種目（シャトルラン、反復横とび、腹筋、斜懸垂、腕立て伏せ、握力）の計測を行い、結果に応じて選考ランキングポイントが付与される仕組みとなっております。過去、身体能力測定の結果でランキングに変動が起き、選考から漏れてしまうセイラーもいるため、海外遠征を志しているセイラーにとっては重要なファクターとなります。ランキング上位者を中心に、どの選手も真剣に計測に臨みました。

選手の最高得点は15点満点中13点でした。過去13点台が4~5名出ていた状態から考えると、全体的な水準は落ちているように感じました。コロナ禍の影響が決して無いとは言えませんが、「このくらいのフィジカルが無ければ世界では戦えない」という思いで設定した項目になるため、今後も継続してトレーニングに励んで頂きたいと思います。

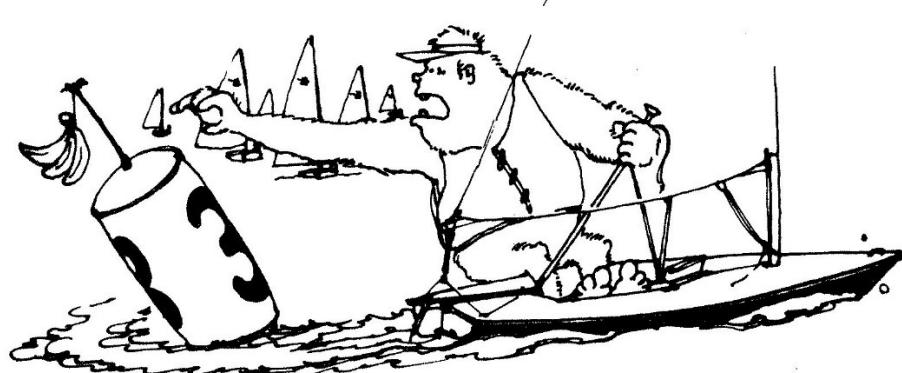
トレーニングキャンプの方は、ウォームアップからのスピードトレーニング、スタート、コース練習を中心に行いました。大型台風の余波で大きなうねりが残る難しいコンディションの中、選手たちは走らせるのも苦労している様子でした。これだけの杯数がまとまって練習を行う機会も少ないとから、わざと混戦になるようなシチュエーションを作り、その中でどうハンドリングを行うのかを選手に意識させながらプログラムを組みました。特に4.7の選手にとっては貴重な経験になったと思います。

今後もクリニックやコーチ派遣等を通して、レベルの底上げを図ってまいります。ハーバーなどで見かけましたら是非お声がけください！

(強化委員会 廣瀬一貴)



集合写真。みなさまお疲れ様でした



レース結果 Regatta Results

●協会認定公式記録●

スプリングレガッタ兼 ILCA4 全日本選手権
(4/29-5/1) 三重県津市 津フリート
津の海と風が老若男女を大歓迎！



初日、海岸は洗濯機状態!!!



キャンセルにつき急遽、佐々木コーチのクリニック開催



最強の運営メンバー



優しいプロテスタント



スペシャル運営艇(津のレジェンド)



Laser 大会で初優勝の喜び

2022 レーザー 4. 7 All Japan Championship で優勝した豊澄麻希（中学2年生）です。

まずは、コロナ禍の中、安全に大会を開催していただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。当大会は一生忘れることの出来ない貴重な経験の一つとなりました。

まずは、少しだけ自己紹介をさせていただきます。私がヨットをはじめたのは小学2年生の時に配られた一枚のチラシがきっかけです。「ヨット？？？なんだか楽しそうだなー。行ってみようかな～」両親に相談したところ「いいよ、行ってみてごらん。楽しんでおいで」と快諾。当日、仕事であった父ではなく、母に連れられて広島セーリングスクール体験会へ参加しました。

いま、大学ヨット部で活躍している先輩たちにOPと一緒に乗せてもらいました。当時の広島セーリングスクールには女の子が多くなったこともあり、「私は絶対に入会して自分も先輩たちのようにヨットに乗りたい」と両親に告げました。小学1年の弟も、「じゃあ僕もやろうかな～」と同調。一方で、小学4年生の兄は「絶対にいやだ。おもしろくない」と断固拒否。「他に何かしたいことがあるならば、それを優先しても良いが何もなければ、兄弟が一緒行動することが大切だよ」との父親の説得に、兄はしぶしぶ入会。「とりあえずは麻希につきあって、入会してやる。でも中学になつたら何か部活やるから、絶対にやめる！」と言っていましたね、と今では家族の笑い話です。

兄弟3人で入会後、毎週のように楽しく観音マリーナに通いました。体験会が7月であったことから、一年目は10回程度の経験でしたが、二年目からは日曜日だけでなく、土曜日もマリーナに通い始めました。広島で開催される大会を中心に様々な地域で人と競うことも楽しめるようになってきました。およそ4年間OPに乗り、2021年8月のOP級西日本を最後に、laserクラスへ転向しました。

協会が開催するlaserクリニックに参加して、いろいろなことを教えていただいたり、広島での練習を重ねました。講師やコーチの皆様ありがとうございます。おそらく教えていただいたことの半分も身についていないかもしれません、引き続きよろしくお願いします。

さて、「2022 レーザー 4. 7 All Japan Championship」は、私にとって大きく二つの意味がありました。ひとつは言うまでもなく4.7クラスの国内最高峰の大会であること。もうひとつは「2022年 ILCA4(4.7)ユース世界選手権」代表候補選手選考としてのチャレンジでした。11月、光で開催されたLaser All Japan Championshipsからスタートしたランキングチャレンジは、12月、江ノ島：クリスマスレガッタ、ミッドウィンター選手権（中止）、YMFSセーリング・チャレンジカップ（中止）、そして当大会の5つの大会及び体力テストの結果を競います。

4月、江ノ島で開催された体力テストを終えた時点で、私のランキングは女子3位であり、当大会でよっぽどの「やらかし」をしない限り、ILCA4(4.7)ユース世界選手権へ出場できると考えていました。強化委員会方針として提示された2022年のILCA4(4.7)ユース世界選手権出場枠数は女子3名、男子3名の合計6枠だったからです。

ところが、大会直前4月26日、強化委員会方針が変更されました。なんと、「男子2枠、女子2枠」になってしまったのです。

ランキング2位に上がるためには、現在2位の女子に9位以上の差をつけて当大会で勝たねばなりません。はつきり言って、それまでの「甘い考え」をもっていた自分に協会から「喝」を入れられた気分でした。もうだめだと、あきらめもしましたし、大会参加の意欲も失われかけました。そんな時、兄弟や両親に励まされ、「よし優勝してやる！もし、それで海外派遣がだめになるならば、運が無かった。でも来年は断トツの1位になってやる！」と気分を入れ替えました。

大会初日（4月29日）

計測受付をすませ、いよいよ大会が始まりました。10mオーバーの風がコンスタントに入るために、安全を考慮して出艇せず。強風が得意な私としては、海に出たいな～と思っていました。

大会二日目（4月30日）

1レース目。前日の残り風を狙って朝からレース開始。ラジアルクラスがスタートし、いよいよ私達もと思ったときに、風が止んでしまい、ノーレース。再度、ラジアルのスタートを試みるもの、大幅なフレでAP旗があがり、海上待機。そして、まさかのハーバーパック。昼食後、少し風が入ってきたので再度出艇。3-5ノットの微風で12時からレース。初めての海面と微風に悩まされ、7位フィニッシュ。うーん、もうひとつ。そのようななか、友人の東道すずさんが、2位に大差をつけて圧倒的な1位。さすがだな～と思いました。私も負けてられないと思ひ上げました。

2レース目。予報に反して徐々に風が上がり始めます。平均8ノットの風、ブローではフルハイクのシーンも。風の良かった左海面を利用しながら、2上マークまで一位をなんとかキープ、2位の男子選手がマークタッチをしてしまい、差がさらにひらきます。風がさらにあがり、このまま1位でフィニッシュできると油断したときに、なんと最後のアビームレグで男子に抜かれてしまう大失敗。2位フィニッシュ(>o<)。油断大敵です。反省。

3レース目。2レース目よりもさらに風が上がり、ブローでは起こしきれないこともしばしば。ライバルの男子らが、いいスタートするものの、私はまさかのスタート失敗。右海面を使わざるをえない状況に、しかしラッキーにも右海面にも良いブローが入り、3位でフィニッシュ。終了後、予想以上に吹き上がったために、複数の選手が沈始めたラジアルクラスはハーバーパック。4.7は4レース目を実施しようと試みるものの、予想以上の吹き上がりを見せたために、安全を考慮して結局はハーバーパックとなりました。

大会最終日（5月1日）

大雨の中、予報通りの風を期待して、意気揚々とハーバーに向かう。予報どおりの時間に雨はあるものの、風は吹かず。結局、ノーレースとなつた。片付けの時に、おきまりの良い風でした、笑。

最後に、現在、私はJSFA、2022年HOPE育成の強化選手として認定していただき、毎月、和歌山で合宿させていただいている。各分野の専門スタッフによる講習/実技指導を受講し、知識を高め、セーリングに必要な土台を作り上げるように努めています。様々なコーチから毎月新しいことを学ぶことは大変楽しい一方で、中学2年生の女子にはきついなーと思うようなハードなトレーニングも沢山あります。しかしながら、HOPE合宿のおかげで当大会の優勝を勝ち取ることが出来ました。コーチ陣の皆様ありがとうございます。

また、ポルトガルで開催される「2022 ILCA4 (4.7) Youth World Championships、Saturday 13 August 2022 - Saturday 20 August 2022」に代表選手として、東道すずさん、千葉貴太郎くん、遠藤海之流くんらと参加できることに心より感謝いたします。ベストを尽くしてくるので、応援よろしくお願ひします。

（広島フリート 豊澄麻希）



いつもスタンダードに乗っている都です。

ラジアルはフリートレース等で3回程の経験があったのですが、公式戦に参加するのは今回のスプリングレガッタが初めてで（あ！めんたいカップは出てました笑）、40艇を超えるフリートでのレースは新鮮でとても楽しいものでした。

初日6-10kntの風の中3レースが行われ、あれやこれやと試しながらのレースでした。途中、少し風が強くなるシーンもあり、公称165.5cm/72kgの私だとスタンダードでは身体の大きな選手たちに置いていかれるタイミングで前に出て行く事が出来、逆にオンデッキでいつもなら有利に進められる風では、不慣れなセッティングのせいもありますが、遅れを取ってしまいました。

アップウインドもダウンウインドもそうですが、セール、リグともにいつものスタンダードよりも軽く扱える事もあり、普段は出来ていないボディアクションやセールトリムが楽に出来るので、本来行なわないといけない基本動作の確認、練習になる事が分かりましたし、それらをちゃんと行う事が必要だと言う事が認識で出来て有意義でした。

レース結果の方は、試行錯誤をしながらも気づけば初日3レースを安定したスコアで纏める事が出来ており、日頃の行いのお陰で翌日の無風ノーレースの恩恵を受け棚ぼた優勝をもらってしまいました。

ニュース委員から幾度となく催促を受けていたながら、レポートを3ヶ月も放置してしまったせいで、詳細な内容が書けなくなってしまいました事をお詫びします。レポートを委託された際は、直ぐに書く事を皆さんにお勧めします。

今、レポートを書いているタイミングではコロナ第7波の真っ只中となっていますが、スプリングレガッタの津の夜は、うなぎ、松坂牛、闇鍋と楽しい事づくめでした。



（Tokyobay フリー 都茂樹）



2022 ILCA4 全日本選手権 ジジイたちの挑戦、マスターズ4.7普及委員会発足？

2022年GW前半、毎日GWのジジイたちが強風の聖地、津に集まつた。

同時に開催されたILCA6スプリングレガッタは、チママスターズ選手権の様相を呈していた。ジジイたちはお互いの生存確認や病気自慢話に花が咲き、また、福岡フリートからの大きなお土産『シ○モト御大』には、「生きておられた！」「ありがたや、ありがたや」「もう思い残すことない」などと再会に大変喜んでいたいたようである。しかしお土産は誰も受け取って頂けず、福岡へ持ち帰りとなつたのであった。



さて、レースであるがILCA4は33艇エントリーのうちジジイが4名、熟女(?)1名、それ以外は未来のセーリング界を担う中高生であった。事前に大人が踏み込めない領域とか、体重を半分にしなさいなどと言われており、一応3度ほど特訓してこの大会に臨んだのである。

初日は15m/sほどの風でレース延期となり、翌日に持ち越された。一夜明けて軽風の中レースが始まった。

右側からの潮も強く、これは『漢ミチオの右一本』と上一番、即タックを決めスピードの差はコースで埋めると意気込んで走ったのだが、無風地帯に捕まり、また無情にも左に15度振れ万事休す。日頃高校生への指導で、「フリートから極端に離れた一本コースは引いてはならない！」という失敗例を身をもって見せたのであつた。第一マークを廻ったとき、艇団とは100m以上も離され本当の一人旅、次の上りは潮と風のシフトを考え最終マークでは艇団の最後尾に追いついたものの、第一レースからカットレースを作ってしまった。

第二レースも軽風に悩まされ、ジジイ軍団は20番以降で醜い戦いを強いられた。最終レグで何とか意地を見せて数艇抜いたのだが、フィニッシュ後、その内1艇の少年に、「Good fight!!」と親指を立てたポーズでエールを送られ、どのようなリアクションをしてよいかわからず、「お？おっ、おう」と応えるのであった。

第三レースは少し風も上がり、先ほどのエールにも応えないといけないのでスタートから気合が入る。大好きな下有利スタートを一番で横切り、これは『Good job!』、トップ行ける！と思ったのもつかの間、デッキに座って艇を起こし走る黒船を尻目に、見事なハイクアウトで抜き去っていくのである。

何とか第一マークはシングルで廻り前方をみると、ジジイの星サクラ〇選手が3位前後で走っている。それに勇気を得て、最後はサクラ〇選手をかわして5位でフィニッシュ。

その頃、さらに風も上がりもう一つシングルを取れば、第一レースの失態が帳消しになると喜びもつかの間、何故かノーレース。まあ明日が有るさとハーバーパックしたが、明日は来なかった。残念ながら最終日は風待ちのまま終了したのであった。



今回ILCA4全日本に参加した目的の一つ、マスターズにおいて4.7リグの展望、ジジイも楽しめるリグであるか体験してみる事であった。

今回走らなかつたのは、体重のせいではなくただ下手くそだっただけで、乗り込めばうまくなるはずである。そういう観点からみると、みんな下手くそであり、一堂にスタートラインに並んだところで、腕前を上げる伸びしろがみんなに有るということだ。また、スタンダードやラジアルでは諦めていた風域も楽に乗れることから、安全性や選手生命の延長が望めるのだ。

さあ、身体が小さい人、GM以上の皆さんは4.7の世界へいらっしゃい！！

(マスターズ委員長 福岡フリート 德丸元彦)



4.7年間ランキング

1位千葉選手

レディース1位東道選手



ラジアルクラス表彰(左から)

GM 優勝秋山選手、4位出口選手、3位丸田選手、2位&U21 優勝須田選手、優勝＆マスターズ優勝都選手、GGM 優勝原田選手



4.7クラス表彰(左から)優勝豊澄選手、2位東道選手、4位出口選手、3位千葉選手、2位北浦選手

ジアイカップ（5/21-22）兵庫県 芦屋フリート 優勝者はジアイさんと何歳違いでしょう？！



スタート



スタンダード優勝 己斐 健太郎(芦屋フリート)ラジアル優勝



和知 健太郎(江の島フリート)と木村名誉会長



閉会式 景品争奪 木村ジアイ名誉会長とのじゃんけん大会

江の島のコーチから「ジアイカップというのは、沢山の人から慕われている木村治愛さんに全国からみんなが会いに来る大会だよ」と聞き、高校生の僕も江の島から会いに行きたくなりました。

初めての兵庫県、初めての芦屋の海、初めて会う治愛さん、芦屋フリートの方々、どれも想像以上に素晴らしいものでした。

初日はチャーター艇を貸して下さった方から「前のほうを走ってくれよ」と励ましを頂き、お借りした艇の為にも前を走ろうと思いました。

1レース目は8~10 knotでスタートしました。僕は右海面へ展開しました。上マーク付近になるにつれて左に振れ、良くない順位で回航しましたが、2上で挽回し、4位でフィニッシュしました。

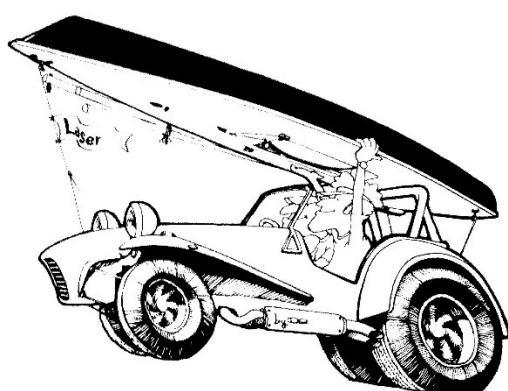
2レース目は下有利だったので、スタート後即タックして艇団を引っ張っていけました。そこから自分の走りがしっかりとでき、1位でフィニッシュできました。

その日の夜は「神戸牛」を食べてみたくて南京町へ出掛けました。「神戸牛バーガー」というとても美味しいハンバーガーを堪能しました。そして車で30分のところにある「有馬温泉」に行き、鉄分豊富でお湯が赤い温泉に入りました。風情のある温泉街で、タイムスリップしたかのようでした。温泉からの帰りには六甲展望台に寄り、日本三大夜景に選ばれた「神戸の夜景」を眺めることもできました。

2日目は軽風～中風の中、3レース行われ、安定して上位を走りました。1日目からUFDの選手が多発していたので、しっかり見通しをとってスタートしました。すでに点差が開いていたのでリラックスしてレースに臨みました。また、2日目も下有利だったので、有利サイドをしっかりと走りました。初めての海面で難しかったのですが、集中して走り、優勝することができました。表彰式では、お会いしたかった治愛さんから直接トロフィーを渡していただき、大変嬉しかったです。

今回の遠征レースでは、ヨットレースの楽しさを味わい、兵庫県の素晴らしいを感じ、周りの大の方々の温かい言葉掛けにも触れる事ができ、思い出に残る遠征になりました。唯一の心残りは、帰りの大空港で食べる予定だった「明石焼き」が売り切れ食べることができなかったことです。明石焼きを食べる為にも、また治愛さんに会うためにも、ジアイカップにまた是非行きたいと思います。ぼくは高校3年生ですが、沢山の大人のセーラーさんとレースをさせてもらえたことで、治愛さんのようにいつまでもヨットを楽しみたいと思った大会でした。運営していただいた芦屋フリートの方々、どうもありがとうございました。

(江の島フリート 和知健太郎)



■中部選手権（6/4-5）愛知県常滑市 知多フリート フライトとレースは同じ風向きでスタート！



1日目レース前

6月4日～5日 愛知県常滑市鬼崎にて中部選手権が開催されました。レース海面はセントレア空港島のすぐ北に位置し、波も穏やかです。様々な飛行機が頭上を低空で通過するのを眺めながらのセーリングはここならではの楽しみです。

初日朝は、前日からの北風が残っており飛行機もまだ北向きで離発着している様子でしたが、暫くの待機後、予報通りの南寄りの風が入り始め飛行機の向きも南向きに変わったところで出艇となりました。

その後、徐々に風軸は反時計回りに変化しながらも終始風に恵まれ、スタンダード4レース、ラジアルはゼネリコの影響で3レースで初日終了となりました。

今回、梅雨入り直前の晴れ間ということで気温も程よく、キャンプや車中泊で参加の方も多く見られました。皆さん必要な感染対策を講じながら、仲間との交流を楽しまれておりました。

2日目は朝から南寄りの風が入り、順調にレースも実施でき両クラス共に予定の7レースをすべて終了しました。

スムーズなレース運営や、着艇後のカレーライス（美味しかつた）、入賞者への手作り木工品の賞品 等々、知多フリートのホスピタリティは素晴らしいなと感じました。ぜひまた行きたい遠征先です。運営の皆様ありがとうございました。

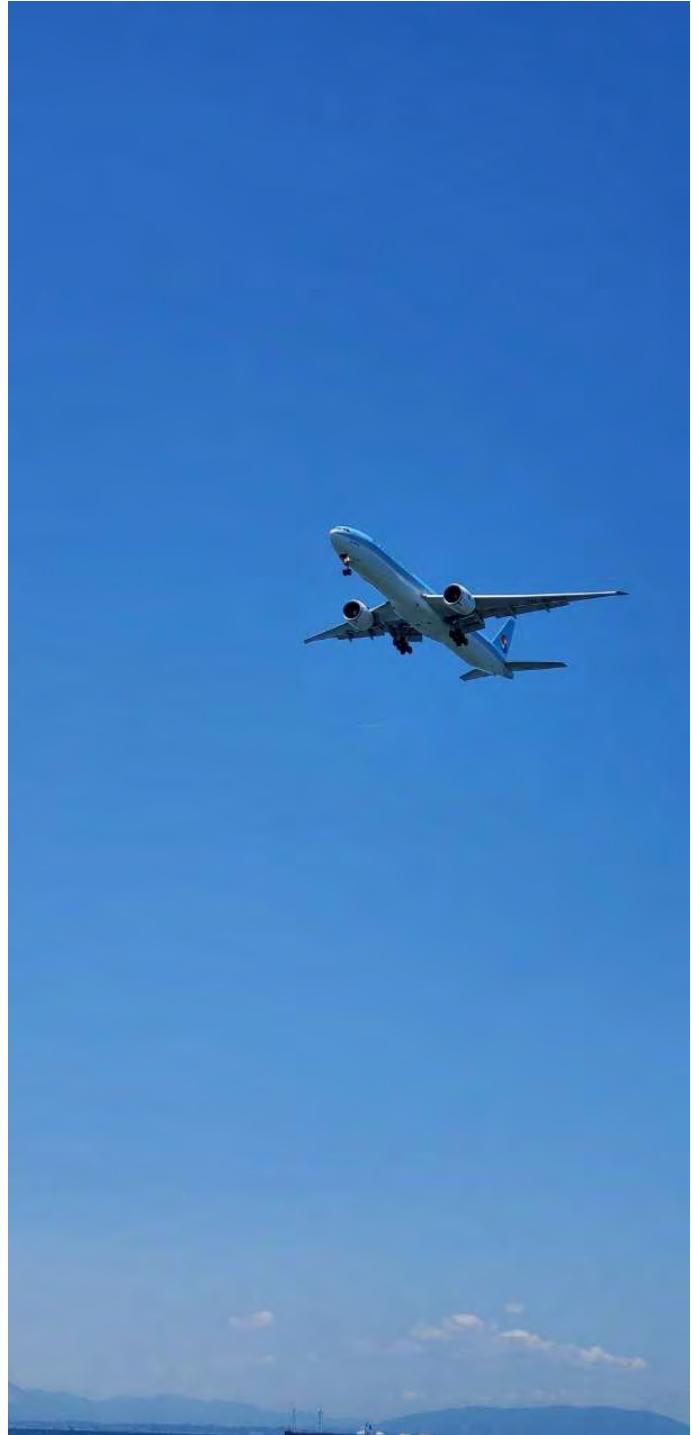
（浜名湖フリート 出口大輔）



初日スタンダードクラススタート



2日目、ラジアルクラススタート



1日目着陸する飛行機の下でレース



カメラマンチョイスのベストショット賞(フィニッシュ直前の大接戦)

春の東北選手権（6/11-12）

福島県翁島マリーナ 猪苗代湖フリート
サクランボの季節は猪苗代湖へ！



1日目トップ回航の都選手



ラジアル1上回航後

待ちに待った3年ぶりの春の東北選手権！今回は空海伝説にゆかりのある翁島沖での開催でした。

1日目は微軽風、2日目は順風+ブローと誰にでもチャンスのあるコンディションでの熱戦でした。コロナで熱は抑えていますがレーザー熱は抑えきません。

優勝者はスタンダードは都選手が見事連覇、ラジアルは素手の女性高橋選手がベテラン男性を退けて優勝！お二人とも優勝スピーチでは～運営の皆さんに感謝し、優勝の喜びと謙虚さの混じった～爽やかなコメントでした。

スタンダードの状況を述べます。1日目は都選手は他を寄せ付けるないスコアで本人も周囲も優勝確信と思われました。2日目は一転し地元運営兼任の佐藤(正)選手、前夜東北の地酒で覚醒した堀田選手が追い上げて最終レースまでわからなくなりました。結果都選手はコース取りに苦労してまさかの沈もありましたが何とか逃げ切りました。

私は今回、順位よりもノートラブル等にこだわりプランを練りました。・・・吹いたらスターボートを横切る時はバングを緩めてからペアする、ブローの入り際にシートコントロールで失速させない、波に長く乗る、マークタッチしない、でした。しかしまークを回るごとに出艇帰着時のサクランボ食べ放題に心を奪われ2上でマークタッチしてしまいました、修行が足りません、空海に弟子入りしたい気分でした。

また表彰式では、岩手佐藤(裕)選手から、9月の全日本マスターのお誘いがありました。サクランボを見習って大産地の松茸PRもありました。有資格者の皆さん楽しみにしましょう。

運営の皆様には大会が温かく盛り上がり選手一同感謝いたします。表彰式後の笑顔が物語っています。地元の宿、キャンプ泊、車中泊で長い夜もレーザー談義や懇親を深めてあつという間でした。

来年も標高500mの湖面が選手達を待ってます。

(青森合浦フリート 小笠原規安)



ラジアル高橋選手達のトップ争い



✿ サクランボ ✿



磐梯山をバックに(関東からの)先発隊



関東選手権（7/8-10）

神奈川県江の島ヨットハーバー 江の島フリート
オリンピアンも一緒によーいドン！



やっぱり夏はいいですねえ。暑いけど…。



今回は江の島に一番近い海面で行われました。



1上トップ！ナイスな笑顔は材木座F木村選手。



4.7クラスはエントリー6艇と少なかったが熱い戦いが行われてました。



STD クラスの熾烈な争い

今回、記事の執筆は体重が0.1トンで材木座フリートのヒロユキがお送りいたします。

今年は梅雨明けが早く暑い日が続いていましたが、レース当日は意外とそこまで気温が上がり快適なレースとなりました。

初日第一レースはラジアルからのスタートでゼネラルリコールやブラック旗+ゼネラルリコールでした。私が参加するスタンダードは、なかなかスタートさせてくれなく、デッキの上で寝ころびながら今日の晩御飯やら、俺の体重ならfinn級乗ろうかなとか考えたりしていました。

ようやくラジアルがスタートし、スタンダード、4.7の番です。ラジアルの走りを見ながら、左が良い走りをしているのでアウター側スタートで決め、ラインに並び、クリアスタート！今回の大会は、元オリンピック選手やらワールドクラス選手が集まっているのでレベルが高かったのですが、1上までには意外と真ん中順位に入ることが出来ました。※その後ズルズル抜かれましたが。レーザーは、基本の走り方を実践すれば十分他艇に食らいつくことができるクラスであるところがいいですね。

風がハイクアウト以上まで上がって来て、「さあー100kgの見せ場だ」と自信が有ったのですが、2週間練習していないだけで、体はリハビリ状態。遠くを走るワールドクラスを見ながら、「あれ、エンジン付いてんじゃね？」と思いつながら帆走していました。

2日目、ハイクアウトまでの走り易い風で始まり、スタートラインに並びました。2日間フリート全体で思った事として、皆、スタートラインまで遠過ぎるような。私は材木座フリートで秘密のライン合わせ特訓の結果、一番高かったみたいです。その結果なのか？1上を3番で回ることもできました。1回でも前を走る機会があると、さらに練習したくなりますね。

2日目は、樋口選手が伸びていました。スタート近くで見ていましたが、さあーっと前にグングン伸ばしていたので、何が違うか研究させてもらいました。上マーク付近で分かったことは、私の上り角度が高過ぎるという事でした。マークアプローチで後ろを走っていた（ちょっと自慢w）オリンピアンに、小声で「なぜ上る？」と言われたような。その後は、すぐに走り方を変えて艇速が上がったように思います。遅かったダウンウインドもシートに伝わる風圧を感じながらコントロールする様にすることで、レース全体で進歩することができました。

最後の最後に抜かされる場面が多く、最終的な成績は。。。うんって感じでしたが、かなり良いレース経験になりました。また、インナーループやアウターループの長いコースも良い経験でした。あっちに行ったり、こっちに行ったり忙しかったですが。

ただ、やはり100kg近い体重は減量しないといけませんね。とりあえず、から揚げ定食ライス大盛と、ラーメン+ライスは当分なしです。

(材木座フリート 鈴木博之)



今回は2日間通して程好い風に恵まれました。



ラジアル優勝の服部輝海選手



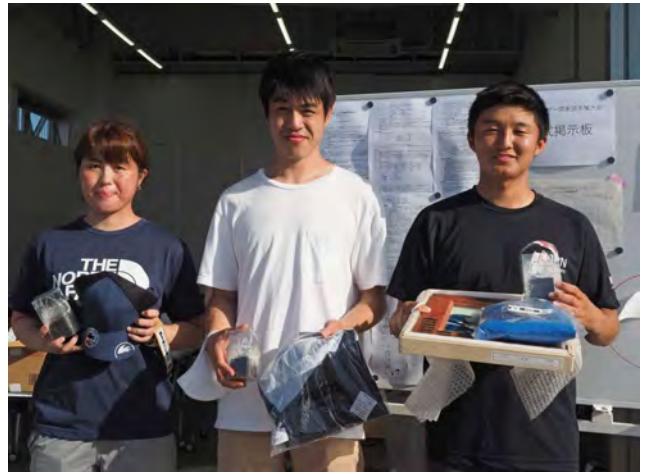
この波を逃すな！



STD 優勝の鈴木義弘、同2位樋口碧、同3位の南里研二各選手。



思わず笑っちゃってるのは誰だ!?



ラジアル優勝は服部輝海、同2位藤本拳、同3位柿本麻衣各選手。



渋滞発生中!?



4.7クラス優勝の千葉欽汰朗選手、同2位の遠藤海之流選手。

2022 ILCA 6 Masters World Championship
MEXICO, Riviera Nayarit (6/9-17)
やった!!!マスターズワールドで1上トップ回航!!!



メキシコでの大会は、天気が良く、暖かく、海もきれいで、ヨットに乗るのがとても楽しいコンディションでした。風があまり上がる前までは。。。そのうちにはJPNの国コードを付けて乗れたらいいなと思っています。

マスターズワールドへの旅、2022

2022年のマスターズワールドは6月にメキシコのPuerto Vallartaで開かれるらしい、という噂を耳にしたのは1年前の6月上旬のこと。そこは私が6年前に初めてのワールドに挑戦した場所で、その時の経験がとても充実して楽しいものだったことから(この時の経験は以下に書きました。<http://toshinari.blogspot.com/2016/05/2016.html>)、当時まだCOVIDで海外への渡航が制限される中も「あそこでやるなら是非また行きたい!」と強く思うようになりました。

そして6月下旬にはそれが本決まりになってILCAのホームページにポストされると、「ようし、次の目標は決まったぜ!」(ルパン3世風)と、それからの約一年はほぼ毎週末海に出て練習し、特に最後の2ヶ月は、(自分の普段の体重は65kgとILCA6セイラーとしてもかなり軽いので)体重を2kg増やすこと、そしてハイクアウトベンチでのトレーニングを12分できるようになることの2点を目標に加え、この2つをなんとか達成した翌日にメキシコへと飛び立ちました。前回の初めてのワールドでは、その夢の舞台に立つこと自体が目標でした。6年後の今回は、世界のトップセイラーとどこまで競えるか腕試し、目標は10位以内、調子が良ければ5位以内!、と秘めた闘志を胸に現地入りしました。



ハーバーはホテルのすぐ隣。部屋のベランダからはボートパークに艤装されたボートが並んでいるのが見えます。



コミッティボートサイドからのグッドスタート。
本大会ではいいスタートを多く切ることができました。

現地での練習と事前に集めた情報では、レース海面は、基本的に3月から6月の上旬までは午後になると内陸部が熱っせられてそこに風が吹き込む、このサーマルによる風は12時ごろから吹き始め、1時ごろに5m/sになり、それが右に回りながら徐々に強くなって、3-4時ごろには8-9m/sくらいまで上がる、このサーマルによる風が確立して安定すると風がペンドしている傾向があることから右海面の方が有利、しかしそれ以前は左海面の方が有利なことが多い、というものでした。

しかしILCA6よりも前に開かれていたシニアのワールド、ILCA7のマスターズワールドではこのパターンに当てはまらないことが多かったとのことで、また6月中旬になると夜に雷雨になるとおり、するとそれが内陸の温度を上がりにくくしてこのパターンをさらに乱す原因になり、結局は「蓋を開けてみないと分からない」ということでした。

なので私が立てた基本作戦も、「有利なエンドからのグッドスタート、そしてクリーンエアーでグッズスピード!」という極めて当たり前のものになりました。しかし7m/s以上の風が確立している場合は、集団の中での上りのスピードに自信が持てないので、「そうなったらできるだけフリーで走るために、確率の高い右海面に早めに突っ込む」というのも作戦に加えました。

迎えたレース初日。第1レースは5m/sという得意の風の中スタート。やや高かったピンサイド3、4番目くらいから合格点のスタートを切ると、風はその後やや左シフト。左手のボートに対してレンをキープするのが難しくなって来た中、右手のボートがタックしてスペースが空いたのを機にタック。風はその後さらに左にシフトし、ロングタックになったポートをクリーンエアーの中スピードに集中してひた走り。すると周りのボートよりもスピードがあり、上マークをなんと2番で回航。

ちょっとドキドキしながら下りの走りに入りましたが、この下りの走りにもスピードがあり、3位以降の集団との差をかなり広げて、ゲートマークには1位のオーストラリア艇とほぼ同時に到達。残りのレグもこのオーストラリア艇(名前はDavidさん)とトップを争いながらも落ち着いて走り、この第1レースを2位でフィニッシュ。予想以上の手応えを感じました。

しかし第2レースが始まる頃には風はかなり上がって8m/sくらいになり、海面には白波も広がっていました。「そうだよなー、そう都合よくは行かないよなー」と気持ちをリセット。この風域では上りでのスピードに自信がないので、ポートエンドからスタートして早めに右に行くという作戦を実行。すると上マークは10番くらいと予想外にいい順位で回航。得意の下りの走りでは1、2艇を抜き、次の上りでもコミットして右に突っ込み、2上は4位で回航。リーチレグで1艇に抜かされたものの、5位でフィニッシュ。結局、初日は2位という、周囲も驚いたが自分が一番驚いた、という素晴らしい結果で終えることができました。

しかし、それに自分で驚いている、ようではやはりだめで、現実はそう甘くなく、2日目には大きくスコアを崩し、その後のレースでも自分の実力相当の10番前後の順位を取ることが多くて、結果的にはこの大会をGGM フリート24艇中11位という、当初の目標には1番足りない成績で終えることになりました。

それでも、全レース今自分の持てる力をフルに出し切って走ったので、この結果には誇りを持っています。

また、今回の大会では、自分的に初めての経験をしたり、今後につながる多くのいい面や新しい面を出すことができました。まず第一に良かったのは、6日間に及ぶ全12レースを体調を維持して走り切したこと。まだ残るCOVIDの影響や、暑さ、時差、食事の違いなどから体調を崩す選手も少なからずいる中、自分も睡眠不足と軽い熱中症のような症状で一時体調を崩しかけましたが、なんとか持ち直すことができました。

次に、多くのレースでいいスタートが切れたこと。これは今までスタートがあまり得意ではなかった自分にとっては大きな収穫でした。5日目の第1レースではピンエンドスタートを成功させて頭一つ抜け出し、すると右後ろから今大会で優勝したAllanさんが、「おっ、やりやがったな！？」、「みたいな感じで、」Toshi!!!」と大きな声をかけてくれました。

実は次の第2レースでもそれ以上のピンエンドスタートをし、直後にタックしてスターボード集団の前をクロスするという快挙を成し遂げましたが（これは初経験）、このレース、UFDリコールして失格っていました（これも初経験）。ビデオを見ると、ほんの僅か早めに出てしまっていたようです。そしてレースコースの随所で世界のトップセイラーと一緒に合うことができたこと、さらに何レースかではとてもいい順位でフィニッシュができたこと。

また、風速が9m/s近くと今大会で最も上がった4日目の第2レースで1上をトップ回航したこと（これも初経験）。コース取りが良かったのが主因でしたが、上マークに一番で到達した時には、「えっ、マジ！？」となりました。これは強風の苦手な自分にとっては大きな自信になりました。

そして、6年前の大会でもそうであったように、この大会で前からの友人と再会でき、そしてまた新しい友人を作れたこと。お互いの健闘を讃え合い、また次の大会での再会を誓い合ったのでした。うん、今回もよかったです、楽しかった！

こうして充実感を持ってこの大会を終えることができましたが、それでも、自分の力が及ばなかつたという失望感や、あそこでこうしていれば結果は違ったのに、というような後悔の思いも正直あります。でもそれについては、またもっと練習して、「この借りは次の大会で返すぞ！」、と思っています。約1年かけてこの大会に向けて準備してきました。その旅は一旦ここで終わりましたが、旅は次の章へとまた続きます！

（アメリカ在住 高柳俊成）



表彰式後、レジェンドクラス優勝のChris選手を囲んでの写真



レース委員長のFranciscoさん(左)と、
レースコースのあちこちで順位を競い合ったNigelさん(右)。
ちなみにチョコレートケーキ三つは取り過ぎでは？

2022年レーザーラジアルクラスマスターズワールド inメキシコ Puerto Vallarta 報告 (レース以外)

帰国時の話を先にします。現在（6月17日）日本へ向かう航空便搭乗には72時間前PCR検査必須で、陰性証明書に不備があると帰国便搭乗を拒否されます。私たちの帰国便デルタ航空DL167便シアトル→羽田も、各地から乗り継ぎの方が「検査方法が適合しない」「記入漏れ」等で搭乗拒否されていたようです。

デルタ航空の弁護しておくと、これは日本国交省からの要請であり、入国が拒否された場合デルタ航空の費用で出発地まで送り届ける義務があるため日本入国が確実でないと搭乗が拒否されます。デルタ航空はシアトル空港近郊の日本入国検疫に適合する検査ができるクリニックを紹介しており、翌日以降の便に振り替えをしてあげていたようです。

わたしたちは米国シアトル経由でメキシコペルトバジャルタへ往復したのですが、帰国予定の数日前に米国入国のPCR検査（または抗体検査）が不要になったため、日本入国に必要な検査を予定していたペルトバジャルタ空港内の検査場が突然閉鎖に。帰国数日前に空港まで出向いて確認していたのですが、帰国日に行くと影も形もなくなっていました。幸い空港案内担当者が近くの病院に連絡を付けてくれて事なきを得ましたが。

コロナ明けで世界の飛行場、それに航空会社も人繰り・資材繰りがつかず出発するまでも予約していたフライトの変更が何回もありました。またPCR検査のこともあります、行き帰りともその日に乗り継げるはずのシアトルに二泊三日で余分に宿泊することとしました。それでもシアトル観光ができたのは帰りの滞在での1日だけでした。

こんなことを言うのは米国の方に申し訳ないのですが、バス、地下鉄のターミナル、車内が、数年前に比べて明らかに治安が悪くなっていますね。

鬱陶しいコロナ話はこれぐらいにして

ペルトバジャルタのワールドは、「パラダイスヴィレッジ」というリゾートホテル全面バックアップ。このホテルは10棟ほどのビルがあり宿泊しているビルから朝食会場のあるビルまではホテル敷地内の散歩です。途中でいろんな動物と出会います。



動かないけど本物のイグアナ



名前はわからない 南国っぽい鳥

フリートみんなでレベルアップのチャンス!! 全国へコーチを派遣します。

2021年度のコーチ派遣を4フリート(開催地)として計画しています。下記地域の未実施フリートから受け付けます。

- 1 北海道 (決定済み) 室蘭フリート
期日 8/13-14
場所 北海道室蘭市 室蘭B&G海洋センター
内容 クリニック
- 2 東北 (決定済み) 岩手フリート
期日 7/30-31
場所 岩手県宮古市 リアスハーバー宮古
内容 初日 レスキュークリニック
2日目 レーザークリニック
- 3 北信越
- 4 その他 地域

開催に関するご相談、準備について等々、気軽にご連絡ください。
連絡先 : ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
担当 佐々木 日本レーザークラス協会 強化委員会

期 間 2022年4月～2023年3月
日 数 1回 2日間
対 象 ①各レーザーフリート
②レーザーでクラブ活動を行っている団体
(ただし申込は近隣フリート経由でお願いします)
参加資格 日本レーザークラス協会メンバー及び各フリート
キャプテンが認めた選手
派遣コーチ 日本レーザークラス協会強化委員会および強化委員会指名コーチを1名派遣します。
費 用 派遣コーチの交通費、謝金、宿泊費は日本レーザークラス協会が負担します。
申込方法 必要事項を記入の上、
日本レーザークラス協会強化委員会宛 ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
メールでお申し込み下さい。ご希望の日程で派遣
できない場合は可能な限り調整します。

*応募多数の場合は開催にかかる準備を強化委員会と調整した後決定します。

お願い ホストフリートでは以下の準備をお願いします。
①開催要項の作成(ひな形は提供します)
②参加者名簿の作成
③コーチボートの準備
④ミーティングルームの確保 他
⑤その他必要経費は参加費(フリート予算等)
でお願いします。

日本レーザークラス協会コーチ派遣 申込用紙

日本レーザークラス協会コーチ派遣に下記の内容にて申し込みます。

送付先 : ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

1. 申込者氏名 :
フリート名 :
フリートキャプテン氏名 :
担当者連絡先 : 氏名
携帯 E-mail

2. 開催希望日 第1希望 月 日 ～ 月 日
第2希望 月 日 ～ 月 日
第3希望 月 日 ～ 月 日

3. 参加艇種 :
予想参加人数 :
フリートメンバー以外の参加予定の有無
(○をつけてください) 有り 無し
有りの場合は団体名 :

4. 講習内容の希望

コーチ派遣、レスキュークリニック開催地募集中!!

スケジュール案

初日 (土曜日) レスキュークリニック
2日目(日曜日) レーザー練習会のプランで指導者、
支援者の講習会とセーラーへの
セーリングアドバイスを行います。

興味のあるフリートは是非お問い合わせ下さい。
無料の協会主催イベントです。

開催場所は3回3ヶ所(先着順)

問い合わせ先

強化委員会 佐々木共之
e-mail hd05c8283su@gmail.com

Sponsors



12 開催地

12.1 添付 1 はレガッタ・ハーバーおよびレース・エリアの場所を示す。

13 コース

13.1 帆走するコースはソーセージコースである。

14 次番

15 得点

- 15.1 シリーズの成立には 1 レースを完了することが必要である。
- 15.2 (a) 完了したレースが 5 レース未だった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
(b) 完了したレースが 5 レース以上だった場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

16 [DP] 支援者艇

- 16.1 [NP] 全ての支援艇は、参加申込締切前までに大会ホームページで登録を行わなければならぬ。全ての支援艇は、レース参加艇の出着艇を妨げてはならない。
- 16.2 全ての支援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするまでの間、またはレース委員会が最初にスタートするクラスをゼネラルリコールとするか、全てのクラスを延期もしくは中止とする信号を発するまでの間、レースエリアの外側にいなければならぬ。
- 16.3 [NP] 支援者艇はレース委員会から救助および曳航の要請があった場合、これに応じること。
- 16.4 [NP] 支援艇の乗員は、水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に替えたり 整えたりする間を除き、常に、個人用浮揚用具を着用していかなければならない。ウェット・スーツやドライ・スuitsは個人用浮揚用具ではない。

17 次番

18 次番

19 次番

20 次番

21 個人情報・肖像権

- 21.1 競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。

22 リスクステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。なお、主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

23 保険

- 23.1 各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入していかなければならない。

24 賞

24.1 賞は次のように与える。

- レーザークラス 1位～2位 賞状および賞品
レーザーラジアルクラス 1位～2位 賞状および賞品
レーザー4.7クラス 1位～2位 賞状および賞品
ただし、参加艇数が 8 艇に満たないクラスは 1 位のみ賞状および賞品を与える。

25 [DP] [NP] 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- 25.1 競技者及び支援者等は、別紙 1 「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための記録および注意事項」に体調記録を記入し大会期間中所持するともに、記載された注意事項を遵守しなければならない。

今大会は、JSAF「セーリング競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って実施する。

参照 URL:

<https://www.jsaf.or.jp/hp/about/committee/soumu/cvgeo>

- 25.2 新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会を中止する場合は、8月 14 日（日）までに大会ホームページ <http://sail.jpn.com> に掲示する。

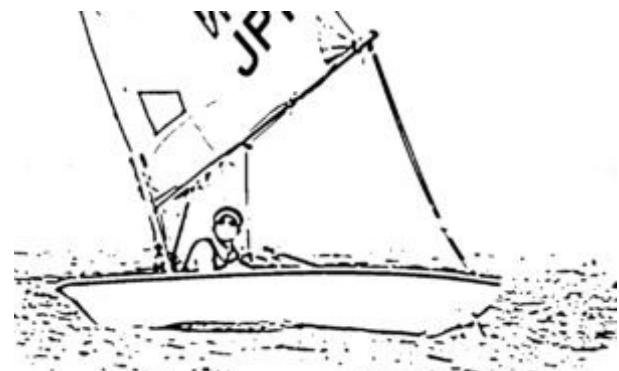
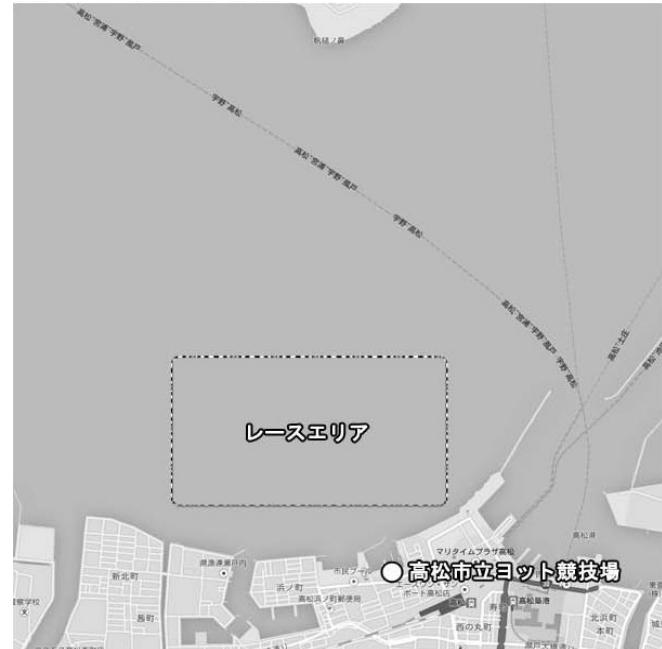
26 大会不成立

- 26.1 強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等により大会不成立の場合には、参加料の返金はしない。

27 問い合わせ先

レーザー高松フリート 山田 佳明
メールアドレス:express.yamada(at)gmail.com
[(at)を@に置き換えてください]

添付 1 GoogleMap より引用(一部改変)



- 9.2. マストトップに浮力体を取り付けてもよい。形状は球状に限り、1箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしてもよい。
10. 帆走指示書 SAILING INSTRUCTIONS
帆走指示書は、9月10日までに、オンライン・エントリーサイト <http://sail.jpn.com> より入手できる。
11. 開催地
11.1. 大会会場：岩手県宮古市神林9-1
陸上本部 リアスハーバー宮古 <http://riashb.com>
- 11.2. レース・エリア：添付図1にその位置を示す。
12. コース
風上一風下コースを予定している。
13. ペナルティ方式
13.1. RRS付則P及びTを適用する。
14. 得点
14.1. シリーズの成立には1レースを完了することが必要である。
14.2. (a) 完了したレースが3レース以下の場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
(b) 完了したレースが4レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
15. 新型コロナウィルス感染拡大防止対策
15.1. 新型コロナウィルス感染拡大の状況によっては本大会を中心止することがある。
15.2. 大会関係者は（運営・選手）は、大会2週間前から体温測定し、当日も平熱であれば参加可能である。
15.3. 大会参加者、引率者及び大会運営スタッフは、受付・計測日を含む大会期間中は、毎日ハーバー来場前に「WEB体調申告」にて体温・体調の申告を行うこと。WEB体調申告フォームへのリンクは、大会前日までにオンラインエントリーサイトの大会公式HPへ公開する。
15.4. 本大会の公式掲示及び諸連絡の掲示、プロテスト公式掲示及び42条掲示は、「オンライン掲示版」にて掲示する。各自の携帯電話又はパソコンからアクセスし、掲示内容を確認すること。掲示板URLは大会前日までにオンラインエントリーサイトの大会HPへ公開される。
15.5. 全ての参加者はハーバー内では原則マスクを着用すること。海上において選手は着用任意とするが、支援艇乗船者は原則マスクを着用すること。
15.6. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
15.7. 他の参加者、運営スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上、ただし障がい者の誘導や介護を行う場合を除く）、大会期間中は大きな声での会話、応援をしないこと。
15.8. 感染拡大防止のため主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者指示に従うこと。
15.9. 大会関係者が大会終了後2週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。（報告先NOR21）
- 本大会は、JASF「セーリング競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って実施する。
16. 賞
16.1. レーザースタンダードクラス及びレーザーラジアルクラスの参加者のうち、どちらか多いリグのチャンピオンに全日本マスターズ総合チャンピオンとしてラダー型トロフィ（持ち回り）が授与される。
16.2. ILCAのキューブの授与は各カテゴリーのエントリー数が5艇以上で成立し、各カテゴリーのチャンピオンにILCAのキューブが授与される。
16.3. レーザーラジアルクラスの女性チャンピオンにはILCAのキューブが授与される。
- 16.4. 16.2でキューブ授与対象とならない各カテゴリーの第1位～第3位の選手に賞が授与される。
17. 責任の否認
本大会の参加者は、自分自身の責任で参加する。RRS3「レースすることの決定」を参照。本大会主催団体は、大会前後、期間中に生じた物理的な損傷、または身体障害もしくは生命の喪失に対するいかなる責任も負わない。またスタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各艇にある。
18. 大会不成立
強風、無風、地震等の自然災害や事件、事故等による大会不成立の場合には、参加料を返金しない。
19. 肖像権
競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。
20. 保険
競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならぬ。
21. 問い合わせ先
リアスハーバー宮古 〒027-0028 岩手県宮古市神林9-1
電話 0193-71-1120 フax 0193-71-1121
ホームページアドレス <http://riashb.com>
メールアドレス 385@riashb.com

添付図1 レース・エリア



※湾内の東側（「月山」側＝図上の右側）には延縄式養殖施設が設置されているので留意すること

以下は、レース公示に含まない事項

- ①宿泊・交通等について
 - ・宿泊等については、下記の問合わせ先をご覧いただき各自で手配をお願いします。

宮古市観光文化交流協会 〒027-0052 岩手県宮古市町1-1-80
Tel 0193-62-3534 fax 0193-62-7030
HPアドレス <https://www.kankou385.jp/>
 - ・宮古までは、東北自動車道 盛岡南インターから国道106号で約1.5時間
 - ・三陸の景色と震災復興を見ながらであれば、仙台から無料の三陸自動車道に入るルートもあります。

CAPSIZE



江ノ島フリート新キャプテン 笹谷と申します。
初めての方も「おまえかいっ」て方もよろしくお願ひします。
カッコいい写真つけてって言われても、
そもそもカッコよくないって事もあって、写真自体あまり
ないんだけどこんなんでいいでしょうか（汗）却下されるかな？

今、江ノ島は国内最大フリートでしょうか？
ジュニア、ユースのクラブも含んでるので最もアクティブな
フリートかと思います。
かつては今や伝説の甲斐さんなんかもいたようですが、私が
レーザー始めた頃の江ノ島フリートは大谷さんとMさんとOさ
んと、あと東浜からえらい苦労して出していた後の湘南フリ
ト軍団の数名がいた謎のフリートだったのですが・・・

活発になったのは江ノ島のハーバーに空きができる、新規に
気軽に置けるようになった事、学生や高校の種目になって、ジ
ュニアやユースでも採用されるようになった事が大きいと思わ
れます。

最高の環境で活動できますので、始めたい方、復活したい
方、他所から関東に移動する方等はぜひともお勧めしたいフリ
トです。

で、これって自分の事も書くんでしたっけ？
思えば、丁度40年前、インターハイで来たのが初めての江ノ
島でした。自分の地元の練習場所にはスナイプが3艇あるだけ
だったので、江ノ島の橋を渡りながら

「おい、あれハーバーかな？」 「え？嘘だろ？も、もしかしてあれって全部マスト？」

そして、気が付くと大学4年間も江ノ島で過ごして、締めの
全日本インカレも江ノ島だったので実はかなりのエノシマンな
のです♪

レーザーではニュース委員長やったり、青森合浦フリート作
ってしばらくキャプテンやってたり（放置してたらクビになっ
たw高松さんよろしくお願ひします）長く遊ばせてもらってお
ります。

おまえで江ノ島大丈夫かよ？って思ったそこのアナタ！

大丈夫です（たぶん）私、飾りなんで。。ちゃんとバックに
あの方とかあの方とか裏キャップがいる（んじやないかな～笑）

ところで、これ書いてるの7月8日なのですが明日から江ノ
島で関東選手権です！

イエイ！！

なのですが仕事抜けられず断念しました。
選手の皆様、江ノ島を堪能してください。
運営の皆様よろしくお願ひします。

（江ノ島フリート 笹谷 優）



FINISH LINE

今年の梅雨明けは非常に早く、気象庁は2022年6月27日、
九州南部・東海・関東甲信で梅雨明けしたと発表した。しか
しながら、7月に入りかつてない記録的な大雨が降る事例が日本
列島各地で頻発している。

欧州では熱波が続き、イギリスでは、観測史上初の気温40°C
以上を記録した。各地で熱波による山火事が頻発しており、6
月から続く熱波で、スペインとポルトガルでは7月19日まで
に熱中症などで少なくとも1100人が死亡したとの報道もある。
明らかに、温暖化による異常気象が発生しているものと思
われる。

何かの記事で読んだ記憶だが、「このまま温暖化が続ければ、
海水温の上昇に伴い、海上では、強風が吹き荒れるようにな
る。」とのことであった。安心してディンギーセーリングができなくなる日が将来やって来るのか？否、その時が来ればそれなりの対応をするだろう。ルールを改正し、セールエリアを小さくしたクラスを新設するだろう。大判バスタオルと程度のセイルエリア2.0 m²のレーザー2.0クラス（愛称バスタオルクラス）を設定し対応することになると予想している。

レーザークラスは常に進化を続ける。！！？？

（ニュース委員長 重松貴）